学校教育目標「心豊かで自立して生きる生徒」

碧心（へきしん）



令和８年度第３号
令和８年６月１日発行

秩父市立秩父第二中学校

令和８年度　３つの重点
①時を守る　②場を清める　③礼を正す

二中ホームページでも閲覧できます

「目標を立てたら……」～稲盛和夫さんの言葉より～

校長　　横田　健男

５月は「埼玉県学力・学習状況調査」、「通信陸上競技大会秩父郡市予選会」、「中間テスト」、「２年林間学校」、「１年校外学習」が実施されました。

６月は「３年修学旅行」、「学校総合体育大会予選会」などが予定されています。各行事を充実させてほしいと思います。

今月は「目標を立てたら……」と題して、京セラを創業した稲盛和夫さんのエピソードを紹介します。１学期も折り返しを迎えました。「４月に立てた目標に対して、達成状況はどの程度まで進んでいるのか」を考えてほしいと思います。

ホンダの創業者、本田宗一郎さんが社員５０人程だった頃から「日本一になるなどと思うな。世界一になるんだ」と大きな夢を口にしていたのはよく知られていますが、稲盛和夫さんも社員数２８人で京セラを創業した１９５９年４月１日、同じ西ノ京原町にあった宮木電機の倉庫を借りて行った創業式典の夜、「世界一になる」という目標をぶち上げています。

できたばかりの企業にとって、それはあまりに遠い目標でした。中京区には歴史ある島津製作所があり、中京区で１番になることさえ、社員の中には「あそこより大きくなれるはずがないでしょう」と揶揄する者がいるほどの大目標でしたが、それでも稲盛さんは「いや、いずれそんな大企業など問題にならないくらい京セラを大きくしてみせる」と言い続けました。

「日本一になる」と思うことにお金はいりません。しかし、思わなければ、口にしなければ、夢に近づくことはないのです。折に触れて「日本一、世界一」と唱えるうちに、みんなが信じるようになったのです。

目標を立てたら、たとえ笑われても堂々と口にした方がよいのです。それが、自分や周りを奮い立たせ、目標を達成する力となるのです。

稲盛さんの強い意志が感じられるエピソードです。

学校でも、今月開催される「学校総合体育大会」に向けての壮行会が予定されています。各部の部長が、それぞれの目標を力強く語ると思います。稲盛さんのように、口にしたことにより、目標が達成されることを期待しています。

